

〔 横浜市大佛次郎記念館 〕
 平成 28 年度業務報告及び収支決算
 〔 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 〕

※ 文中の事業欄において、
 ●：主催事業。○：共催事業
 を示します。
 ※ 文中の達成指標、達成状況欄において、
 □：定量的指標。■：定性的指標
 を示します。

1 施設の概要

施設名	大佛次郎記念館
所在地	横浜市中区山手町 113 番地 港の見える丘公園内
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上 2 階 地下 2 階建
敷地・延床面積	建築面積 593.13㎡ 延床面積 1,166.30㎡
開館日	昭和53年5月1日

2 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町 2 番地
代表者	理事長 澄川 喜一
代表者設立年月日	平成 3 年 7 月 10 日
指定期間	平成 28 年 4 月 1 日から平成 33 年 3 月 31 日まで 5 年間

3 指定管理に係る業務方針

(1) 基本的な方針の総括

公の施設の指定管理者として、関係法令、条例規則等を遵守し、市民及び設置者の信頼と期待に応えるよう、指定管理者としての初年度の運営を行いました。

大佛次郎旧蔵品を中心とする約 7 万点に及ぶ所蔵資料を活用しつつ、展示公開、講座、研究等の事業を行いました。また、新資料の収集も行いました。施設設備の保全にも十分配慮し、安心して快適な施設運営を心がけました。

著作権継承者との信頼関係を基盤として、作家と作品の、調査・研究・普及を使命とし、広く市民の読書活動や文芸の発展に寄与するとともに、地域文化の拠点となるよう、指定管理 2 年目に繋げてまいります。

業務計画にある 4 つの方針に沿って、次の通り取り組みました。

①近隣の学校や文化観光局、中区役所、教育委員会、図書館などと連携し、広く市民の読書活動や文芸の発展に寄与することについて、研究者等の組織する大佛次郎研究会や神奈川近代文学館、近隣の小学校等と連携しました。

②地域連携や市民協働により、大佛次郎記念館（以下「記念館」という）及び記念館で行われるあらゆる活動を支えていただける関係を構築することについて、山手地区の立地を生かし、文化施設・観光施設として近隣の山手西洋館や商店街等と連携しました。

③観光地であるという立地の特徴を踏まえ、大佛の愛した「猫」関連の企画や、スタンプラリー等コンテンツツールの推進、建物の特長を活かした撮影誘致等、様々な参加者、利用者呼び込み、地域のにぎわいと活気を創出することについて、特に新規企画（「大佛次郎×ねこ写真展」）の実施、及びスタンプラリー（文豪ストレイドックス スタンプラリー）への参加によって、入館者数を大きく伸ばすことに成功しました。

④オープンデータやデジタルアーカイブに関する潮流を捉え、ICTを活用した情報の集積・提供サービスの向上に資する事業や取組を実施することについて、オープンデータは、大佛次郎の自著に関するより精緻な書誌情報の調査に努めたため、今年度の目標達成には至りませんでした、翌年度始には完了する予定です。

上記の取組を通して、専門家、市民、観光来訪者等さまざまな方々が利用し、集い、学び、楽しむことができる「新しい文学館像」を模索し、実現に努めました。

（２）28年度の業務の方針及び達成目標の総括

大佛次郎の人物、作品の魅力を後世に伝えるというミッションを維持しつつ「新しい文学館像」を実現していくためのスタートの年度と位置づけ、指定管理1年目として計画した事業は、ほぼ全て実施することが出来、目標を達成することができました。

テーマ展示Ⅰは昭和期の玩具という、現代の子ども達にも興味を持ってもらいやすい展示であったことに加え、中学生以下を入館無料化したことと、人気漫画作品のスタンプラリーの効果も手伝い、ファミリー層に多数ご来館いただきました。テーマ展示Ⅱではポール・ルヌアール版画を初公開し、テーマ展示Ⅲではロマン・ロランやフランスと大佛次郎の関係を辿る展示を行い、どちらのテーマ展示でも、関連事業（旧蔵資料のSPレコードを活用したコンサート、味覚という点から大佛次郎のフランスを追体験する講演会）を実施し、貴重な機会を参加者の皆さんと共有することができました。

このほかの事業や施設の管理運営自体も、計画書に則り執行いたしました。本年より初の試みとして、秋には近隣の山手西洋館と連携した「横浜山手西洋館ハロウィンウォーク2016」にも初参加し、これまで記念館になじみのなかった多くの方々にも記念館を知っていただく機会となりました。また大佛が愛猫家としても有名であったことに鑑み、「大佛次郎×ねこ写真展」を開催し、会期22日間で約3千名の来館者数を記録しました。また、記念館監修の書籍『大佛次郎と猫』を「大佛次郎×ねこ写真展」開催に合わせて刊行し、さらに記念館活性化プロジェクトの成果の継承事業として、館内巡りツール「ねこからの挑戦状」を作成することで、記念館を、「猫」というキーワードで強く印象付けることができました。以上のように、これまで記念館を知らなかった新たな層の方々に多く来館していただいた結果、目標入館者数を大きく上回り、指定管理1年目を無事に終了することができました。

テーマ展示、及び関連事業はいずれも、研究員による学術研究結果を活かした内容でした。研究員は、展示事業のみならず、館運営全般にわたる視点を持って、日々業務にあたりました。また研究員を含めた記念館の全スタッフ一人ひとりの業務遂行能力は高く、コンプライアンスを遵守し、公的施設として、来館者にとって快適な施設運営を心がけました。

目標入館者数を大きく上回る結果を出せた一方、課題としては、スタッフの業務過多を引き起こしたことがありました。ミニマムなスタッフ人員の中で、「大佛次郎×ねこ写真展」という新規事業を企

画・開催したことで、業務過多となり、その結果、広報分野の「事業、施設運営、維持管理等の項目につき、事の大小に関わらず行ったことは実績として記録、発信します」という目標の「発信」部分が実行できませんでした。スタッフの健康管理と入館者数の目標達成との無理のない両立が今後の課題です。

平成 28 年度に記念館の事業が盛況だった要因としては、大佛次郎研究会、各出版社、ティールーム「霧笛」、山手西洋館、公園管理事務所、元町 S S 会や商店、ホテル等の観光施設、近隣学校等、各関係先と「顔の見える関係」を構築し、連携できたこと、また、所管の横浜市文化観光局との強固なパートナーシップを築けたことも幸いしました。今後も、地域との関係性を重視しつつ、記念館の魅力を発信します。

4 事業の取組についての達成状況

(1) 文化事業について

ア 作品、旧蔵資料及び関連資料の収集、保存及び展示公開

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>① 資料収集</p> <p>大佛次郎関連資料の寄贈を随時受け付けるとともに、情報収集に努め、適切な収集を行います。</p>	<p>■新収資料については、市民の財産として積極的に情報発信し、公開します。</p> <p>目標：おさらぎ選書「資料収集」コーナーへの掲載</p>	<p>■27 年度の受贈資料 26 点をはじめとする新収資料についての情報を「おさらぎ選書」第 24 集「資料収集」コーナーに掲載しました。</p>
<p>② 資料保存</p> <p>所蔵資料を後世に継承するため、資料の劣化を防ぎ良好な状態を保ちます。</p> <p>専門的な観点から収蔵資料の整理を行い、収蔵品展等に活用します。</p>	<p>■貴重な資料の管理や保護に注力し、自筆原稿等特に貴重な資料の管理に細心の注意を払います。</p> <p>■温湿度管理の徹底と中性紙箱に収める等の方法で資料の保全を行います。</p>	<p>■多様な種類と形態をもつ資料の特性に留意しつつ、展示期間中の展示替えやレプリカの利用により状態の維持に努めました。</p>
<p>③展示公開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常設展（収蔵品展） ・愛蔵品展示コーナー ・1階ロビー展示 	<p>■収蔵資料の整理手順を確立することで効率的に整理を行い、活用します。</p> <p>目標：整理手順の確立</p> <p>□上半期、下半期と年 2 回に分けて「大佛次郎の生涯」にスポットを当てた収蔵品展を展</p>	<p>■デジタル温湿度計の購入、採用によって、より正確な状況把握が可能になりました。一部の 24 時間空調が実施できていない書庫については夏場の湿度管理に特に留意しました。病虫害対策の一環として、書庫内の大規模清掃を行うとともに、入り口に靴底吸着マットを設置し書庫内の環境保全に努めました。</p> <p>■収蔵資料の整理手順をフローチャート化し、整理手順を確立することができました。安全な資料管理と作業の効率化につなげました。</p> <p>□年 1 回の全体的な展示替え実施</p> <p>「大佛次郎-人と作品-」と題し、全体的な展示替えをはさみ年 2 回の展示を行いました。</p>

<p>④展示以外の資料公開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・閲覧室での図書の閲覧 ・「おさらぎ選書」に目録を掲載。 ・収蔵資料目録のデータベース化を進め、ホームページ上で公表します。 ・研究目的に沿った的確なレファレンスサービスを提供します。 	<p>示室で実施します。</p> <p>目標：年1回の全体的な展示替え実施</p> <p><input type="checkbox"/> 歌人吉野秀雄との交流に焦点をあてて関係した旧蔵資料等を愛蔵品展として記念室前展示コーナーで展示します。</p> <p>目標：愛蔵品展示コーナー及び1階ロビー展示</p> <p>各年1回の展示替えの実施</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> データカテゴリーを追加します。</p> <p><input type="checkbox"/> ホームページ上で新規に公表するデータ数：700件以上</p> <p><input type="checkbox"/> レファレンスサービス件数：年間40回以上</p>	<p>生涯をたどる構成に加え上半期は「私の履歴書」と「フランスへの憧れ」、下半期は「ちいさい隅」をセクションテーマとし、新収資料や新刊本『ちいさい隅』の四季』にちなむ資料を紹介しました。</p> <p><input type="checkbox"/> 愛蔵品展示コーナー及び1階ロビー展示</p> <p>年1回の展示替えの実施</p> <p>吉野秀雄との濃やかな交流を示す色紙や書簡など、展示替えを行いつつ通年展示しました。1階ロビー展示では、キャプションのバイリンガル化にむけて展示の再構成の検討を進めました。</p> <p><input type="checkbox"/> スポット展示「大佛次郎と花森安治」では、テレビ番組で話題となっていた、「暮らしの手帖」と大佛次郎との意外な接点について紹介しました。（9月4日～11月27日）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> データカテゴリーの追加については作業を進めましたが、完了には至らず未達となりました。（未達）</p> <p><input type="checkbox"/> 大佛次郎の戦前期刊行の自著約500件のデータ整理を進めました。ホームページ上での28年度内の公開には至りませんでした。29年6月中の公開をめどに作業を進めます。（未達）</p> <p><input type="checkbox"/> 年間58件のレファレンスがあり、一般の来館者をはじめメディアや学界など幅広い層からの質問に答え、資料の発信につとめました。</p>
---	---	---

イ 作品及び大佛次郎に関する調査研究及び情報の集積

<p>[取組内容]</p> <p>大佛次郎の作品等に関する調査研究成果を展示、出版、講座・講演等により、社会へ還元します。</p> <p>① テーマ展示</p>	<p>[達成指標]</p> <p><input type="checkbox"/> テーマ展示の実施：3回</p> <p><input type="checkbox"/> 観覧者目標 15,400人 (25年度実績 13,590人、 26年度実績 14,732人)</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p><input type="checkbox"/> テーマ展示の実施：3回</p> <p><input type="checkbox"/> テーマ展示Ⅰ～Ⅲ展示観覧者数：19,684人 (参考 27年度実績 14,904人)</p>
--	--	---

<p>●テーマ展示Ⅰ</p> <p>磯貝宏國コレクション Vol. 2 「鞍馬天狗ワンダーランドー 昭和のあそび」</p> <p>26年度に受贈した「鞍馬天狗」 磯貝宏國コレクションを活用 し、おもちゃを中心に昭和時 代の遊び（めんこ、ベーゴマ、 たこあげ、カルタなど）を多角 的に紹介します。</p> <p>また実際に遊びを体験できる コーナーを設けます。</p> <p>・ターゲット</p> <p>実際に遊んだ世代であるシニ ア世代及び親子連れ、観光客</p> <p>・期間</p> <p>3月17日(木)～7月10日 (日)</p>	<p>□観覧者目標数：5,200人</p> <p>■昭和のあそび体験コーナーの 開設</p>	<p>テーマ展示Ⅰ</p> <p>磯貝宏國コレクション Vol. 2 「鞍馬天狗ワンダーランドー昭和のあそび」</p> <p>□観覧者数：10,299人</p> <p>■磯貝コレクションの寄贈を記念する第2回 目の展覧会。昭和期の玩具を中心に、約1 万点に及ぶコレクションから約100点を選 りすぐり、コリントゲーム、メンコ、日光 写真など、昭和世代にはなつかしく、現代 の子ども達の目には新鮮に映るあそびを紹 介しました。サロンにはメンコやすごろく の体験コーナーを設置し、世代を超えた交 流の場としました。</p> <p>期間中実施された「文豪ストレイドッ グス」のスタンプラリーの効果もあり、入館 者数が大幅に増加しました。</p>
<p>●テーマ展示Ⅱ</p> <p>時間を切り取る画家「ポール・ ルヌアール」</p> <p>記念館が収蔵する大佛次郎の 旧蔵資料「ポール・ルヌアール (画家、版画家、1845-1924)」 の版画約300点のうち、版画 集「動き、しぐさ、表情」に集 録されている動物や街中で遊 ぶ子どもの版画約50点を今回 初展示します。</p> <p>・ターゲット</p> <p>美術愛好家、フランス好き等</p> <p>・期間</p> <p>7月14日(木)～11月13日 (日)</p>	<p>□観覧者目標数：5,100人</p> <p>■アーツフェスティバル実行委 員会事業と連携します。</p> <p>目標：サポート事業としての 展示実施</p> <p>目標：助成金申請が採択され た場合、SPレコードコレク ションを活かした企画の実施</p>	<p>テーマ展示Ⅱ</p> <p>「時間を切り取る画家 ポール・ルヌアール」</p> <p>□観覧者数：4,481人(未達)</p> <p>■大佛次郎の旧蔵資料である、フランスの画 家版画家、ポール・ルヌアールの版画を記 念館で大々的に公開する初めての試み。初 公開を含む版画40点及び資料約30点を紹 介しました。</p> <p>画家ルヌアールの「社会」を見つめる眼差 しと「文士たるものカメラを持って」が持論 であった大佛次郎の視点とを比較すること で、大佛作品を理解する上での新たな切り 口を提示することができました。</p> <p>横浜アーツフェスティバル実行委員会主催 「横浜音祭り2016」のパートナー事業とし て、特別展示「絵になった音」で、ルヌア ールの音楽に関連する版画を紹介しまし た。同様に、助成事業に採択され、大佛旧 蔵のSPレコード音源のデジタル化を実 施、展示会場で常時流すなど、文学、音 楽、美術のジャンルを超えて楽しんでいた</p>

<p>●テーマ展示Ⅲ</p> <p>ロマン・ロラン生誕 150 年「大佛次郎とロマン・ロラン」(仮)</p> <p>大佛次郎が第一高等学校仏法科に入学し、ロマン・ロランの作品に出会ったのが本格的な関わりでした。28 年度はロマン・ロラン生誕 150 年であり、大佛次郎にとって、また同時代人にとってロマン・ロランとはどのような存在であったのかを軸に、大正時代から戦前、戦後を通じた大佛次郎とフランスの関係をたどります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ターゲット フランス文学愛好家等 ・期間 11 月 17 日(木)～平成 29 年 3 月 12 日(日) <p>②おさらぎ選書の発行</p> <p>●「おさらぎ選書」第 24 集を発行します。また、29 年度の第 25 集発行に向け、編集、執筆及び執筆依頼を行います。</p>	<p>□観覧者目標数：5,100人</p> <p>■講演会等の関連事業：会期中 1 回以上</p> <p>■「おさらぎ選書」第24集では、ロマン・ロラン生誕150年を記念して、「大佛次郎とフランス」と題し、論文「大佛次郎のロマン・ロラン」、「関一と野尻清彦」及び大佛次郎書</p>	<p>だけの企画としました(テーマ展示Ⅱ後期)。さらに、「大佛次郎旧蔵SPレコードコンサート」では、定員の3倍を超える応募があるなど、新たな来場者層の開拓につなげることができました。</p> <p>なお、横浜フランス月間に参加して、「ポール・ルヌアールの見た子どもたち」と題してルヌアールの版画をテーマ展Ⅱのプレ展示として紹介しました。(6月11日～7月10日)</p> <p>テーマ展示Ⅲ</p> <p>ロマン・ロラン生誕 150 周年記念「大佛次郎のフランス」</p> <p>□観覧者数：4,904 人(未達)</p> <p>■大佛次郎が傾倒したフランスの作家、ロマン・ロランの生誕 150 年を記念する展覧会。第一部では大佛次郎が愛読したロラン作品や、大佛次郎と詩人尾崎喜八、フランス文学者小牧近江らとの交流を紹介し、第二部では、大佛次郎がはじめてフランスを訪れた際に夫人に書き送った絵葉書からフランスへの思いを紹介するなど、資料約 90 点を展示しました。</p> <p>関連事業として実施した講演会「大佛次郎の美味しいフランス紀行」は、食を切り口に大佛次郎のフランス旅行を追体験するという初めての試みでした。定員 18 名に対し、参加人数は 13 名となり、約 7 割の参加人数でした。実施後のアンケートに回答を寄せた 8 名全員が満足したという結果となりました。</p> <p>■「おさらぎ選書」第 24 集では、ロマン・ロラン生誕 150 周年を記念して、「大佛次郎とフランス」をテーマとし、論文「大佛次郎とロマン・ロラン」(安川篤子)、「関一と野尻清彦」(内海孝)及び、大佛次郎からの酉子夫人あて絵はがき 166 通の翻刻(1958 年</p>
---	--	--

<p>③ 情報の集積と発信</p> <p>一般紙誌の掲載につながる話題を積極的にリリースするとともに、公式サイトの実践や、ブログや SNS を用いたタイムリーな発信を行います。</p> <p>公園内の話題（花の話題等）や山手西洋館の行事にも積極的に言及します。</p>	<p>簡翻刻を掲載します。</p> <p>発行予定年月：平成28年6月中</p> <p>■新収蔵、初公開等の情報を発信します。</p> <p>■SNSアカウントを開設、運用します。</p> <p>目標：ツイッターアカウントの開設</p> <p>目標：フェイスブックアカウントの開設</p> <p>ブログ更新回数：月5回</p>	<p>5月～7月）を掲載しました。（平成28年9月刊行）</p> <p>■初公開情報は、展覧会、催事情報の情報とあわせて発信いたしました。</p> <p>■フェイスブックアカウント及びツイッターのアカウントを開設しました。ブログは、当館以外の話題も随時更新し、月5回以上発信しましたが、1～3月のみ、新企画の展覧会（ねこ写真展）開催で繁忙期となった影響で、月5回未満の更新となりました。（未達）</p> <p>発信したい情報が沢山あったにもかかわらず、マンパワー不足で着手できなかったことは今後の課題です。</p>
--	---	---

ウ 各種文化的行事の実施

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>① 各種文化的行事の実施</p> <p>各種文化的行事を実施し、大佛次郎及び作品の普及啓発を行います。</p> <p>●横浜文学散歩の開催</p> <p>●大佛次郎賞記念講演会</p> <p>○大佛次郎研究会公開発表会</p>	<p>□横浜文学散歩を年1回開催します。</p> <p>目標：参加者20人</p> <p>□朝日新聞社との共同主催で、大佛次郎賞受賞記念講演会を年1回開催します。</p> <p>目標：参加者240人</p> <p>■大佛次郎研究会に対し、資料の閲覧、会議室の利用、選書への論文掲載等の便宜を図るとともに、年2回開催される研究会公開発表会を共催し、活動を支援します。</p>	<p>□10月15日(土)に大佛次郎と直木三十五の関係に焦点をあてたミステリーツアーとして富岡方面を散策しました。目標を上回る22人の参加となりました。</p> <p>□受賞者浅田次郎氏の都合により、3月の開催は見送りとなり、29年度の4月13日(木)に開催することとなりました。(定員を大幅に上回る申し込みを受け付けており、抽選のうえ、450人の参加予定です。)</p> <p>■28年5月28日(土)と11月12日(土)に公開研究発表会を共催し、記念館会議室の優先予約や広報物の作成などを通じ、活動を支援しました。</p> <p>参加者数：春(5月28日)145名、 秋(11月12日)82名</p>

<p>②施設及び山手エリアの活性化</p> <p>●和室公開</p> <p>春の桜、晩秋の紅葉の時期に和室を公開し、来館者に窓から眺める景色を楽しんでいたくと同時に、大佛の作った俳句等を展示し、啓発に努めます。</p> <p>・春3月20日(日)-4月10日(日)(19日間)</p> <p>・秋11月27日(日)-12月11日(日)(13日間)</p> <p>○大佛茶亭公開</p> <p>鎌倉風致保存会主催の鎌倉市雪ノ下にある「大佛茶亭」の公開に合わせて、書籍、グッズ販売等を行います。</p> <p>・春4月9日(土)</p> <p>・秋10月1日(土)</p> <p>③子ども対象事業を実施します。</p> <p>●小学生ミニ・ビブリオバトル</p> <p>本好きだった大佛次郎のスピリットを伝えるとともに、読書全般に対する振興事業として、昨年度に引き続き第4回ミニ・ビブリオバトルを実施します。</p>	<p>□目標来場者数</p> <p>春・秋各400人</p> <p>■会場で書籍、グッズ販売を実施、施設の紹介も行います。</p> <p>■春秋の公開に伴い茶亭の展示コーナーを展示替えします。</p> <p>□中区との連携事業として年1回開催</p>	<p>□上記のほか、横浜みなとみらいホールと共催で、「2016 みらいすとクラブメンバーの集いⅡ 試聴ラウンジ『文豪 大佛次郎の音楽館 SPレコードコレクション徹底試聴』」を開催。音楽愛好家としての大佛次郎に迫りました。(10月15日、16日 於：横浜みなとみらいホールレセプションルーム 参加者数：15日32名、16日24名)</p> <p>□春季は春にちなんだ大佛次郎の俳句6点をパネル展示し、秋季は秋にちなんだ俳句7点を紹介しました。</p> <p>来場者数(期間中入館者数)</p> <p>春：1,159名、秋：603名</p> <p>■書籍、グッズ販売とミニ展示を通して、記念館のPRができました。</p> <p>□大佛茶亭の公開にあわせ行っていた年2回のミニ展示を、28年度は記念館のテーマ展示にあわせ、年3回実施しました。茶亭を訪れた人が記念館にも来館するなど、相互効果が見受けられました。</p> <p>□中区をはじめ、市内小学校に在学する小学4年生1名、5年生3名、6年生2名の6名をバトラーとして第4回ミニ・ビブリオバトルを11月5日に開催しました(7名募集、1名当日欠席)。保護者、関係者など約25名の見学者もあり、本を通じた交流を深めることが出来ました。また、中区との連携にむけて、協議を進めました。ミニ・ビブリオバトルがどのようなものなのか知ら</p>
--	---	---

<p>○夏休み子どもアドベンチャー 市教委主催の夏休み子どもアドベンチャーに参加し、子どもたち及び保護者の入館を促進します。(ねこをみつけよう、よみきかせ、ねこを書こう)</p> <p>●感想画展など、小中学生無料化に伴い、親子での来館を促す企画を実施します。</p> <p>○神奈川県博物館協会主催のミュージアム・クイズラリー2016に参加し、来館者増を図ります。</p> <p>④観光客や新規来館者を呼びこむ企画</p> <p>○「猫」企画の実施 大佛次郎の愛した猫を切り口に、新たな来館者層を開拓します。</p>	<p>□参加者目標：80人（保護者含む）</p> <p>□年1回実施</p> <p>□参加者目標：500人</p> <p>■会議室での展示事業として年1回実施</p>	<p>ない小学生、教師向けに、実際の様子を見られるように、今年度のビブリオバトルの記録映像を編集した動画を制作し、来年度の募集に役立てる計画です。</p> <p>□「お話しの中の猫と友達になろう！～感想画体験～」と題し「子どもアドベンチャー」を8月17日、18日の2日間にわたり実施しました。「白猫白吉」の読み聞かせとその感想画を描く内容となりました。2日間で子ども20名、大人17名、計37名の参加がありました。また、完成した感想画を、夏休み期間中記念館に展示し、家族の来館につなげました。企画内容と目標設定に齟齬があり、次年度に向け課題です。(未達)</p> <p>□年1回実施 夏休みアドベンチャーとして実施しました。</p> <p>□「ミュージアム・ミッション～博物館からの挑戦状～」に参加しました。7月16日～8月31日の期間中の参加者数は累計208名でした。(未達)</p> <p>■「大佛次郎×ねこ写真展2017」を開催しました。会議室では、大佛次郎の文章とコラボレーションした猫の写真や、大佛次郎が撮影した猫の写真、公募で集まった665点もの猫の写真を展示しました。また、和室では記念館にお出掛けしてきた猫たちが集結した風情の猫ポップの展示を行うなど、まさに猫づくしの見て楽しい展示を行い、会期22日間で約3千人もの入館者数を記録しました。来館者には気に入った公募作品について、投票ボードにシールを貼る形式での人気投票に参加していただきました。 会期：2月22日～3月20日</p>
---	---	---

		入館者数：2,979人
--	--	-------------

エ 施設の有効活用及び文化団体等への活動の場の提供

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>① 記念館の雰囲気や建物の魅力を生かした利用の誘致を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学校茶道部の利用促進を行います。 ● 平成 29 年度近隣教育機関と連携し、オープンハウスを実施します。 <p>② 会議室、和室の利用促進 建物の魅力を活かした撮影利用や、展示利用等を誘致します。</p>	<p>■ 初釜、部活発表会等の利用案内の発送：年 1 回</p> <p>■ 平成 29 年度のオープンハウス実施に向けた打ち合わせの実施</p> <p>□ ドレス撮影会等、商業撮影の誘致：年 5 回以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ウェディング撮影を近隣のホテルや結婚式場と連携して誘致を推進します。 ■ 撮影等、特徴ある利用実績を記録し、アピールに使用します。 ■ 主催または共催で、会議室の連続利用につながる展示事業を開催します。 	<p>■ 10 月に発送しましたが、残念ながらご利用には至りませんでした。</p> <p>■ 29 年度のオープンデー（オープンハウスから改称）にむけて、協力団体を募り、打ち合わせを重ねました。バイリンガルでの展示解説や茶道体験、鞍馬天狗の版画体験やバスマルドレスの展示など、関係諸団体と具体的な内容を検討しました。</p> <p>□ ドレス撮影会など、8 回実績がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 和室を利用したウェディング撮影を 1 件受け入れました。新郎新婦さんのご協力により、ブログでも発信させていただき、記念館への誘致 PR の一助とさせていただきました。 ■ 「ユースギャラリー」（2 月 11 日～19 日）、と「大佛次郎×ねこ写真展 2017」（2 月 22 日～3 月 20 日）で会議室を連続利用し、多数のご来場者にお楽しみいただきました。
<p>③ リピート利用に向けた方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 和室、会議室での附帯設備導入等による利便性向上 ・ 会議室の利用者の意見を聞き設備面・サービス内容等を改善。 ・ ホームページでの情報提供。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 附帯設備の充実を検討します。 ■ 改善を実施し、実績をホームページや SNS を通じ発信します。 ■ ホームページに「和室・会議室空き状況」ページを開設します。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 茶道具の充実、プロジェクターの貸出を検討しました。 ■ 新たに数茶碗と急須湯呑の貸し出しを開始し、ホームページ上でも情報掲載を始めましたが、SNS での発信には至りませんでした。（未達） ■ ページの開設について、12 月まで開発及びテスト試行をしたあと、1 月より本格稼働しました。

<p>④ティールーム「霧笛」との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 相互割引の継続実施及び団体利用客への霧笛紹介。 記念館活性化プロジェクトで開発されたメニューの継続販売。 	<ul style="list-style-type: none"> チケット半券ーレシートの提示による相互割引を開始します。また団体客や貸館利用者へティールームの利用を呼びかけます。 記念館活性化プロジェクトで開発されたメニューの継続販売。 	<ul style="list-style-type: none"> 相互割引を謳う割引クーポンを作成し、ティールーム内で配布を開始しました。また当館ホームページ内に新たにティールーム霧笛のページを新設し、来店者の増加を図りました。 フランスのトリコロール柄のかき氷「大佛フラッペ」を今夏も販売いたしました。
--	---	--

オ 市民協働及び地域とのネットワーク構築

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>① 近隣教育機関との連携</p> <p>②近隣施設等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ●横浜山手芸術祭への参加 横浜山手西洋館ユースギャラリーの会場として、親子の来館を促進します。 ・内容 市立北方小学校児童作品を会議室に展示 ・期間 平成 29 年 2 月（10 日間） ●山手西洋館（横浜市緑の協会）との連携 ・西洋館クイズ ・山手西洋館ハロウィンウォーク ・山手通信への情報掲載 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■近隣小学校等とは、チラシ配布、ポスター掲示等で日常的な協力関係を築くとともに、小学生ミニ・ビブリオバトル等の子ども対象事業を行う場合には、挨拶まわりを行い、参加を呼びかけます。 ■横浜山手西洋館ユースギャラリーの実施：年 1 回 ■ハロウィンウォーク及び西洋館クイズへの参加 ■新規来館者増を目指すとともに「大佛」の読み方をクイズに採り入れるなど、大佛次郎及びその作品、記念館を知っていただく機会として活用します。 	<p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ミニ・ビブリオバトルの参加を呼びかける際には、中区の近隣小学校を訪問し、小学校校長会や司書教諭の研修会での説明とチラシ配布を行いました。 また、小学生を前にミニ実演を行うなど、企画の普及と参加者募集につなげる働きかけを行いました。来年度の普及活動の一助となるよう、紹介ビデオを制作しました。 ■「ユースギャラリー」は、2月11日～19日に開催し、紙工作、粘土、絵画など、小学生の作品を会議室で展示しました。 延べ 248 人の観覧者がありました。 ■10月30日のハロウィンウォークに今年度初参加しました。当館をご存じなかったと思われるファミリー層を中心に 3,753 名の参加数がありました。記念館の存在を知っていただく良い機会となりました。

<p>● 県立神奈川近代文学館との連携</p> <p>③ 近隣商店街等との連携 元町商店街(元町SS会)、横浜高速鉄道(株)、ホテルニューグランド等と連携します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボンパドウルに、大佛次郎記念館活性化プロジェクトから生まれた冬季限定パン「ピコンリキュールのごほうびサバラン」の販売継続を働きかけます。 ・ホテルニューグランドの大佛次郎ゆかりの「天狗の間」宿泊プランの継続を働きかけます。 	<p>■ 観覧者の相互割引を継続します。</p> <p>■ 近隣商店街等とのつながりを大切にし、関係性を深めます。</p> <p>■ ボンパドウルや、横浜高速鉄道とポスターの相互掲示を継続します。</p>	<p>■ 28年度も継続実施し、双方の館を訪れていただけるようご案内に努めました。</p> <p>■ ホテルニューグランド、ボンパドウルから「ねこ写真展 人気投票」へ、ランチ券や焼き菓子等の賞品提供のご協賛をいただきました。</p> <p>■ 28年度もポスター掲示に協力いただきました。ボンパドウルでは、今冬季も記念館活性化プロジェクトから生まれた「ピコンリキュールのごほうびサバラン」の販売をしていただきました。</p> <p>■ 29年度のテーマ展示Ⅰにむけ、ホテルニューグランドはじめ、元町や中区内の商店に協力を要請し、関係を深めました。ホテルニューグランドの「天狗の間」宿泊プランは継続販売されました。</p>
<p>④ 研究者団体等の文化活動への場の提供</p>	<p>■ 大佛次郎研究会及びフランス経済史研究会との施設及び資料利用に関する協定を継続します。</p>	<p>■ 大佛次郎研究会と大佛次郎研究会会員の資料利用等について協議を重ね、覚書を交わしました。フランス経済史研究会とはコンタクトをとり、協力関係を継続しました。</p>
<p>⑤ 財団他施設との連携 施設間連携として、テーマ展示Ⅱ(ポール・ルヌアール展)の広報連携を行います。</p>	<p>■ 過去に連携実績のある横浜美術館と、展示、商品販売等の連携を検討します。</p>	<p>■ 29年度テーマ展示Ⅰに関連した写真パネル展示の企画を横浜美術館と検討し、3月25日から実施いたしました。(展示期間は29年度の6月25日まで)</p>
<p>⑥ 市民協働</p> <p>● NPO法人横浜シティガイド協会との連携</p> <p>● 記念館ボランティア 展示作業、イベント開催のお手伝いをいただきます。</p>	<p>■ ガイドに対するレクチャーを開催。同協会の業務による来館は、人数に関わらず団体料金を適用する協定を締結し、記念館へのツアーを促進します。</p> <p>■ 組織化に向け、ボランティアのメーリングリストを立ち上げます。</p>	<p>■ ガイドに対するレクチャーは開催できませんでした。協定締結の提案をし、先方で検討いただいています。(未達)</p> <p>■ メーリングリストの立ち上げをしましたが、本格的な募集には至りませんでした。</p>

カ 広報・プロモーション活動等の推進

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●従来からの広報よこはま、地域のタウン誌、新聞紙面等による広報活動を継続します。またSNS等を活用したプロモーション活動を行います。</p> <p>●大佛次郎及び記念館紹介ビデオの作成 エンタランスでのエンドレスで上映により、入館の動機づけを行います。</p> <p>●ホームページのリニューアルを行います。</p> <p>●アプリの開発の検討</p>	<p>□3か月スケジュールの発行： 年4回</p> <p>■29年度に向け、紹介ビデオの企画・構成について検討し、作成、放映。(3月末まで)</p> <p>■和室、会議室の利用状況・空き状況を発信し、インターネットでの確認を容易にして、利用促進を図ります。</p> <p>□ホームページ情報更新 月3回以上</p> <p>□ブログ情報更新 月5回以上</p> <p>□ツイッター更新 週1回以上</p> <p>■大佛次郎記念館アプリ開発について情報収集</p>	<p>□予定通り発行しました。(年4回)</p> <p>■記念館を初めて訪れた人にも分かりやすく、大佛次郎の業績と記念館を紹介する内容(和文及び英文)の、約7分の動画を3月中旬に完成させ、3月下旬から記念館の正面入り口に設置されているモニターで放映することで、来場者の入館の動機づけを行いました。また、他施設での放映も視野に入れ、DVD・ブルーレイ両媒体で作成しました。3月25日から開始された横浜美術館カフェでの29年度テーマ展示Iに関連した写真パネルの展示会場でも放映しました。</p> <p>■和室、会議室の空き状況のページについて、12月まで開発及びテスト試行をしたあと、1月より本格稼働しました。</p> <p>□ホームページは月3回以上の更新を行いました。</p> <p>□ブログでは、当館以外の話題も随時更新し、月5回以上発信しましたが、1～3月のみ、新企画の展覧会(ねこ写真展)開催のため繁忙期となった影響で、月5回の更新はできませんでした。(前掲)(未達)</p> <p>□ツイッターはアカウント開設は完了しましたが、更新は着手できませんでした。(未達)</p> <p>■情報収集には至りませんでした。次年度以降の実施とします。(未達)</p>

<p>●CATVでの情報発信</p> <p>CATV局やその他TV局と連携して、企画展等の情報を発信します。</p>	<p>□CATV等TV局からの情報</p> <p>発信：年3回以上</p>	<p>■FM放送局での生放送での情報発信のほか、テーマ展ごとにCATVでの情報発信がなされました。年10回</p>
--	---------------------------------------	---

キ 後世に継承するための記念館の活性化

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>①大佛次郎作品の刊行協力等、大佛作品を読める環境整備</p> <p>○「ちいさい隅」刊行協力</p> <p>●その他</p> <p>②フランス関連資料の活用</p> <p>③若者の来館促進(スタンプラリー協力等)</p> <p>○スタンプラリー等参加</p>	<p>■神奈川新聞社より刊行予定の「ちいさい隅」刊行協力を行い普及に努めます。</p> <p>■単行本未収録の作品の刊行や絶版本の復刊を出版社に働きかけます。また所蔵資料を活用した出版も併せて働きかけます</p> <p>大佛関連書籍の出版社からの発行：年1冊以上</p> <p>■電子本配信の検討を行います。</p> <p>■テーマ展示Ⅱ及びⅢで展示活用します。</p> <p>※個別事業の概要と目標については前掲の通り</p> <p>■キャンペーンイベント等のスタンプラリー拠点に参加し、若い世代の来館を促します。</p> <p>(27年度実施例：文豪ストレイ</p>	<p>■『「ちいさい隅」の四季』刊行に向けて、写真の提供や年譜の作成など協力を行いました。また、刊行を記念して「ちいさい隅」を収蔵品展のセクションテーマとし、関連資料を中央ガラスケースで紹介しました。</p> <p>■徳間書店『猫のいる日々』を底本とし、当館所蔵の猫コレクションや、大佛自身が撮影した猫の写真などを文章に合わせて配置した、オールカラーの読んでも見ても楽しい書籍『500匹と暮らした文豪 大佛次郎と猫』が小学館から、記念館監修として2月に刊行されました。</p> <p>■電子本配信は、諸事情からすぐさま実施できるというものではありませんが、閲覧室内に限って絶版となった書籍などを読むことができる方策を検討しました。</p> <p>■「テーマ展示Ⅱ」では18点の初公開資料を含む、フランス画家の版画や資料等約70点を展示し、「テーマ展示Ⅲ」では日本で初公開となるロラン宛て書簡の複製をはじめ、フランス関連の書籍を中心に約100点を展示しました。</p> <p>■5月2日～6月5日に実施された文豪ストレイドッグスタンプラリーでは、4,240名の参加がありました。記念館を知ってもらう良い機会となりました。</p>

<p>○街コン開催</p>	<p>ドッグス、ロマンティックゲームフェスティバル、アンジェリーク・ルトゥール)</p> <p>■街コンジャパン主催、財団協力の「横浜アートで街コン」に協力し、若い世代の来館を促します。</p> <p>目標：年1回以上</p>	<p>■3月5日に、「大佛次郎×ねこ写真展 2017」内で街コンを開催しました。参加者はどのねこに一票を投じようかと相談していたり、クイズシート「ねこからの挑戦状」に取り組む姿が見られ、良い雰囲気でした。参加者アンケートでは、満足度100%という主催者も驚くほど非常に高い評価を得ました。</p>
<p>④「大佛次郎記念館活性化プロジェクト」成果継承 活性化プロジェクトアイデアを活用して、記念館の魅力アップを図ります。</p>	<p>■25年度～27年度の3年間に実施された「ヨコハマハコいりムスメプロジェクト」から出されたアイデアをブラッシュアップして成果を継承します。</p> <p>継承企画：年1件以上</p>	<p>■謎解きクイズという成果を継承し、「ねこからの挑戦状」というクイズシートを作成し、「大佛次郎×ねこ写真展 2017」の開幕と同時に配布を開始しました。シートを手順に、館内外のねこ巡りを来館者に楽しんでいただきました。</p>
<p>⑤子どもたちが記念館に集う取組</p>	<p>■小中学生入館料無料化と、親子の来館を促進する企画により入館者増を図ります。</p> <p>※個別事業の概要と目標については前掲の通り</p>	<p>■27年度小中学生の観覧者数は864人でしたが、今年度は1,616人に増加しました。</p>
<p>⑥スタッフの展示案内によるリピーターの確保</p>	<p>□団体入館者に対する解説：年40回以上</p>	<p>■39回実施いたしました。団体入館のメリットと捉えていただけるよう、丁寧な説明を心がけました。(未達)</p>
<p>⑦愛猫家の側面に着目した、猫を活かした企画展開</p>	<p>□猫関連企画の実施：年1回以上</p>	<p>■「大佛次郎×ねこ写真展 2017」を開催しました。会議室では、大佛次郎の文章とコラボレーションした猫の写真や、大佛次郎が撮影した猫の写真、公募で集まった665点もの猫の写真を展示しました。また、和室では記念館にお出掛けしてきた猫たちが集結した風情の猫ポップの展示を行うなど、まさに猫づくしの見て楽しい展示を行い、会期22日間で約3千人もの入館者数を記録しました。来館者には気に入った公募作品</p>

<p>⑧収入増及び健全な財務体質の実現に向け、個別事業評価システムによる自己評価、文学懇話会（会員構成：メディア・有識者等・市）の意見、年次評価等を活用した PDCA サイクルの構築</p> <p>●文学懇話会の開催 メディア、市、有識者から意見を聞く懇話会を年 2 回開催し、今後の運営や事業に反映させます</p>	<p>□文学懇話会の開催：年 2 回 開催予定日：6 月 24 日（金）、 11 月 18 日（金）</p>	<p>について、投票ボードにシールを貼る形式での人気投票に参加していただきました。 会期：2 月 22 日～3 月 20 日 入館者数：2,979 人（再掲）</p> <p>■財団の個別事業評価システムを利用することで、事業計画段階から結果報告まで、事業毎の収支の把握、執行管理を徹底しました。</p> <p>■大佛次郎生誕 120 周年である来年度をどう盛り上げていくかについての意見交換を主体に、予定通り実施いたしました。（年 2 回）</p>
--	--	--

(2) 施設運営について

ア 観覧及び市民・市民団体の教養活動のための施設の提供

<p>[取組内容]</p> <p>①観覧施設の提供</p> <p>② 和室及び会議室の積極的な貸出、レファレンス対応</p>	<p>[達成指標]</p> <p>①□開館について</p> <table border="1" data-bbox="549 1256 965 1594"> <tr> <td>開館日数</td> <td colspan="2">301 日</td> </tr> <tr> <td>営業時間</td> <td colspan="2"> ・ 4～9 月 10 時～17 時 30 分 (最終入館：17 時) ・ 10～3 月 10 時～17 時 (最終入館：16 時 30 分) </td> </tr> </table> <p>②□利用料金について（平日利用料）</p> <table border="1" data-bbox="549 1688 965 1886"> <tr> <td></td> <td>10 時～ 12 時 30 分</td> <td>13 時～ 17 時</td> </tr> <tr> <td>和室</td> <td>5,000 円</td> <td>8,000 円</td> </tr> <tr> <td>会議室</td> <td>2,500 円</td> <td>4,000 円</td> </tr> </table> <p>□レファレンスサービス： 年間 40 件</p>	開館日数	301 日		営業時間	・ 4～9 月 10 時～17 時 30 分 (最終入館：17 時) ・ 10～3 月 10 時～17 時 (最終入館：16 時 30 分)			10 時～ 12 時 30 分	13 時～ 17 時	和室	5,000 円	8,000 円	会議室	2,500 円	4,000 円	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□予定通り開館いたしました。</p> <p>□予定通り</p> <p>□年間 58 件のレファレンスがあり、一般の来館者をはじめメディアや学界など幅広い層からの質問に答え、発信につとめました。</p>
開館日数	301 日																
営業時間	・ 4～9 月 10 時～17 時 30 分 (最終入館：17 時) ・ 10～3 月 10 時～17 時 (最終入館：16 時 30 分)																
	10 時～ 12 時 30 分	13 時～ 17 時															
和室	5,000 円	8,000 円															
会議室	2,500 円	4,000 円															

<p>③入館者数の増</p>	<p>□目標利用率 和室 20% (日) 会議室 25% (日)</p> <p>③□入館料について 大人 (高校生以上) 200 円 (団体料金 150 円) 小中学生 無料</p> <p>□年間入館者目標 : 17,800 人 一日の入館者目標 : 59 人 (実績 : 25 年度 15,770 人 26 年度 16,678 人)</p>	<p>□和室 28.2%、会議室 35.2%と、目標利用率を達成しました。</p> <p>□年間入館者数 : 22,507 人 (昨年度より 5,471 人増加) 一日の入館者数 : 75 人 (実績 : 27 年度 17,036 人)</p>
----------------	---	--

イ 利用者ニーズの把握及び利用者サービスの向上、アイデアノウハウの一層の活用

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●施設貸出の御案内、撮影等の貸出利用案内強化による利用促進 ホームページでの空き状況案内の実施 (前掲) に加え、29 年度中のメールマガジンでの案内実施に向けた準備を行います。</p>	<p>■メルマガでの案内実施に向けた準備:利用者にて用途を開示した上でメールアドレスの取得開始</p>	<p>■館内イベントと、ねこ写真展期間中にメルマガ募集キャンペーンを実施し、会員を募りました。またホームページから登録できるようなシステム開発を行いました。</p>
<p>●アンケート等による利用者ニーズの把握</p>	<p>■来場者に対するアンケートを実施します。月毎の集計を行い、館内スタッフに迅速なフィードバックを行います。</p> <p>■改善事例については、ホームページ、SNS等で情報発信します。</p>	<p>■先月の来場者に対するアンケートを月始に集計し、職員間で情報共有し、また横浜市とのモニタリング時にも活用しました。</p> <p>■改善事例の発信は該当がなかったため未実施でしたが、ねこ写真展での人気投票で、当初予定していた一等賞以外に賞を新たに追加したことや、ブログで記念館の周辺情報を発信し、来場者の関心の高い事柄について、積極的に発信しました。</p>
<p>●案内・説明表示の外国語表記対応</p>	<p>■案内パンフレットの英語版作成:外国からの入館者に積極的に配布します</p> <p>■公園内案内板の英語併記:実施</p>	<p>■外国語パンフレットを積極的に活用しました。</p> <p>■4～5月に実施。横浜をイメージして作られた濱明朝というフォントを使い、看板を一新</p>

<p>●展示解説や団体向け解説を実施します。(再掲)</p> <p>●Wi-Fi アクセスポイント設置します。</p> <p>●電子マネー決済の導入。</p> <p>●施設の魅力を向上させるため、調度品類を修繕・更新します。</p> <p>●ショップ事業 大佛次郎記念館オリジナルグッズを展開し、団体客等に積極的に販促します。</p> <p>図書の販売を継続します。</p>	<p>■1階ロビー展示部分の英語併記：一部実施</p> <p>□団体入館者に対する解説 年40回以上(再掲)</p> <p>■解説時に、対話によりお客様のニーズを把握します。</p> <p>■Wi-Fi アクセスポイントの設置</p> <p>■suica 導入の検討をします。</p> <p>■随時実施</p> <p>□新規グッズ開発: 1アイテム以上</p> <p>■大佛次郎の個人文学館として、現在では一般の書店で手に入りにくい図書類を販売します。</p>	<p>しました。</p> <p>■1階ロビー展示部分の英語併記は準備を進めましたが年度内に表示するには至りませんでした。そのかわり、受付部分の英語併記、入口設置のモニター動画では英語表示を完成させました。(未達)</p> <p>□年39回の実施となりました。(未達)</p> <p>■一方的な解説だけではなく、時にはお客様に問いかけることでコミュニケーションを促すよう心がけました。</p> <p>■予定通り3月に設置完了しました。</p> <p>■3月にsuica 導入契約を締結しました。29年度4月中旬から稼働予定です。</p> <p>■大小さまざまな修繕・更新を、必要頻度に応じて実施しました。なかでも、会議室前のバルコニーには、掃出しドアを出た場所に階段があり、利用上の安全面に課題があったため、3月にウッドデッキを設置して階段を覆いました。今後はバルコニーの安心安全な利用促進につながることを期待されます。また、記念館正面入口のエントランスにモニターを設置し、記念館及び大佛次郎とその作品を紹介するビデオを放映することで、来館者の入館の動機づけを行いました。</p> <p>□くらかくん(鞍馬天狗イメージキャラクター)の缶バッチ、猫の鞍馬天狗の木版画「やさしさはつよさ」、当館監修・小学館発行『大佛次郎と猫』を新発売しました。</p> <p>■書籍を切らすことのないよう、計画的な仕入れに努めました。</p>
---	--	--

ウ 組織的な施設運営

<p>[取組内容]</p> <p>① 適切な運営組織体制と人材の配置 最少人数での最大効果を求め、情報の共有化、迅速な意思確認を徹底します。</p> <p>② 文学館の専門性、公共の施設として適切な人員を配置。職員の能力向上のため、研修を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務室、研究室共通業務に必要な資格取得に向けたバックアップを行います。 ・ 研究室スタッフ 	<p>[達成指標]</p> <p>① <input type="checkbox"/> 人材の配置について</p> <table border="1" data-bbox="550 392 949 1019"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>副館長</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>3人</td> <td>事務室1、研究室2</td> </tr> <tr> <td>アルバイト</td> <td>2人</td> <td>事務室1、研究室1 (週3日)</td> </tr> <tr> <td>業務委託</td> <td>2人</td> <td>月4回</td> </tr> <tr> <td>カルチャースタッフ</td> <td>4人</td> <td>受付窓口</td> </tr> </tbody> </table> <p><input type="checkbox"/> 館内会議の実施 研究室会議：月1回 合同会議：月1回 企画会議：月1回</p> <p>■ 29年度に向けた準備 研修や資格取得に関し、内容や費用の調査を行い、業務として受講・取得を推進するものと、自主的な受講・資格取得とするものの仕分けを行います。 例) サービス介助士(2級) 文化財IPMコーディネータ等</p> <p>■ 研究室は展覧会の企画立案、資料等の研究・整理等の能力を有する職員を配置します。</p> <p>■ 全国文学館協議会会議に参加し、文学館同士の情報共有・連携強化を行います。</p> <p><input type="checkbox"/> 専門研修への参加 年1回以上</p>	項目	人数	備考	館長	1人		副館長	-		職員	3人	事務室1、研究室2	アルバイト	2人	事務室1、研究室1 (週3日)	業務委託	2人	月4回	カルチャースタッフ	4人	受付窓口	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p><input type="checkbox"/> ミニマムな人員体制の中、万全なシフトを組めるよう調整しつつ、着実な運営体制を保ちました。</p> <table border="1" data-bbox="997 392 1404 1052"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>副館長</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>2人</td> <td>事務室1 研究室1</td> </tr> <tr> <td>アルバイト</td> <td>3人</td> <td>事務室1 研究室2 (うち1名は11月まで週3日)</td> </tr> <tr> <td>業務委託</td> <td>2人</td> <td>月4回</td> </tr> <tr> <td>カルチャースタッフ</td> <td>4人</td> <td>受付窓口</td> </tr> </tbody> </table> <p><input type="checkbox"/> 館内会議は予定通り行いました。事務室が二手に分かれていること、シフト勤務ということで、スタッフが一堂に会す会議は貴重な意見交換の場となりました。</p> <p>■ 業務として受講・取得を推進する研修かどうかを都度検証しました。</p> <p>■ 第38回虫菌害・保存対策研修会に参加し、研修で得た知見を研究室の資料保存に活かしました。</p> <p>■ 能力のある職員を配置するとともに、専門員、特任研究員からの助言を活用し、常に能力向上に努めることのできる環境にありました。</p> <p>■ 他館の実情を知る貴重な機会として参加いたしました。(年1回)</p>	項目	人数	備考	館長	1人		副館長	-		職員	2人	事務室1 研究室1	アルバイト	3人	事務室1 研究室2 (うち1名は11月まで週3日)	業務委託	2人	月4回	カルチャースタッフ	4人	受付窓口
項目	人数	備考																																										
館長	1人																																											
副館長	-																																											
職員	3人	事務室1、研究室2																																										
アルバイト	2人	事務室1、研究室1 (週3日)																																										
業務委託	2人	月4回																																										
カルチャースタッフ	4人	受付窓口																																										
項目	人数	備考																																										
館長	1人																																											
副館長	-																																											
職員	2人	事務室1 研究室1																																										
アルバイト	3人	事務室1 研究室2 (うち1名は11月まで週3日)																																										
業務委託	2人	月4回																																										
カルチャースタッフ	4人	受付窓口																																										

エ 個人情報保護等、本市の重要施策を踏まえた取組

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●個人情報保護・情報公開、環境への配慮、市内中小企優先発注等の取組の実施</p>	<p>□個人情報漏洩などに関する事故：0件</p> <p>■業務計画書、報告書のホームページでの公開：実施 PDFのダウンロードを可能とします。</p> <p>□市内中小企業への発注： 全契約の9割以上（件数、金額）</p>	<p>□研修を重ね、危機意識を高め、注意を払って業務にあたっています。 個人情報漏洩などに関する事故：0件</p> <p>■3月に完了しました。</p> <p>□市内中小企業中心に発注を心がけましたが、発注件数は約6割となり、目標値には達しませんでした。なお、経理システム上、金額についての目標設定は適切でなく、金額は未集計となりました。今後は適切な目標設定となるよう見直しを図ります。（未達）</p>

(3) 維持管理について

ア 施設及び設備の維持保全及び管理、公園管理

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●施設の安全・安心・快適環境維持と長寿命化の実施</p> <p>●保守点検、備品管理、環境維持の実施</p> <p>●公園の管理区域内の維持、公園管理者との連携調整</p>	<p>□施設運営に支障がでないように管理します。</p> <p>□館建設から37年経過し、建物、設備に劣化が進んでいるので、必要な修繕を実施するように調整します。</p> <p>□必要に応じ市と協議を行います。</p> <p>□不具合早期発見のため自主点検を実施します。 月1回</p> <p>■自主点検した内容を財団事務局と情報を共有します。</p>	<p>□館内環境に支障が出ないように、小破修繕を行いつつ、常に長期的な視点を持って管理いたしました。</p> <p>□長寿命化のための工事につきましては、市と協議を重ね、調整しています。</p> <p>□毎月実施いたしました。</p> <p>■情報連絡を密に行いました。</p> <p>□必要に応じて連絡調整をいたしました。樹木について相談にも乗っていただきました。</p>

イ 小破修繕の着実な実行

<p>[取組内容]</p> <p>●小破修繕の取組</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■随時実施</p> <p>□不具合早期発見のため自主点検を実施します。月1回(再掲)</p> <p>■修繕等の実施に際しては横浜市と情報共有するとともに、実績をホームページ、SNS等を通じ積極的に情報発信します。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■実施済</p> <p>トイレ部品交換、誘導灯交換、受付チャイム改修、コンセント修理、照明工事等 必要な場合は、横浜市と連携して修繕を行いました。</p> <p>□実施しました。(月1回)</p> <p>■横浜市との情報共有は密に行いました。 なお、広く一般の人に向けて周知すべき案件はなかったため、情報発信に至りませんでした。</p>
-------------------------------	---	--

ウ 事故予防及び緊急時の対応

<p>[取組内容]</p> <p>●事故防止体制・防犯、緊急時の対応・感染症等衛生管理の実施</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□施設運営に支障がでないように管理します。</p> <p>□館内巡回 1日2回</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□8月にティールーム霧笛での非常時対応として緊急事態であることを事務室に知らせるためのチャイムを設置しました。3月の夜間に会議室バルコニーに不審者の侵入がありました。警察に通報するとともに、警戒レベルを引き上げました。感染症対策としてはノロ対応セットを新調しました。</p> <p>□実施しました。(1日2回)</p>
--	--	---

エ 防災に対する取組

<p>[取組内容]</p> <p>●日常の取組、危機管理マニュアルの整備、防火・防災の取組、災害備蓄等の実施</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□防災訓練 年2回</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□地元消防出張所長の指導のもと9月に訓練を実施し、2月には職員のみ自主訓練を実施しました。事前の説明がなく、マニュアルに頼らない訓練を行ないました。</p>
--	--------------------------------	--

5 収支について

ア 適切な収支構造及び収支バランス

<p>[取組内容]</p> <p>●適切な収支構造及び収支バランス</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■優先順位を見極め、緊急度の高いもの、必要性の高いものから執行を検討し、提案した収支表に準じ、適切な収支管理を行います。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■適切に実行いたしました。</p>
---------------------------------------	---	---

イ 指定管理料のみに依存しない収入構造の検討

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●指定管理料のみに依存しない収入確保の取組	■有料入館者を増やすため、観光客、団体客を増やします □ショップ売上目標：1,500,000円	■スタンプラリーやねこ写真展での入館者は、今年度の入場料収入の大幅増につながりました。 □ショップ年間売上：1,916,454円

ウ 経費削減及び効率的運営努力

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●管理費の多くを占めている光熱水費を節約することで、コストの削減につなげます。	□電気・水道使用量 前年度比マイナス	■電気はプラス3.2%、水道はマイナス29.6%でした。ガスについては安全上の配慮から、6月より契約を取りやめました。 (未達)

6 P D C Aサイクルの確実な運用

ア 日報及び月間事業報告書の作成・管理について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●日報、月間事業報告書の作成と管理	■業務の基準に則り適切に対応します。	■適切に対応いたしました。

イ 業務計画書及び業務報告書の作成・管理について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●業務計画書、業務報告書の作成と管理	■業務の基準に則り適切に対応します。	■適切に対応いたしました。

ウー1 業務評価（モニタリングの実施）について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●モニタリングの実施による業務評価	■業務の基準に則り適切に対応します。	■横浜市との情報共有の場としても活用しつつ、適切に対応いたしました。

ウー2 業務評価（自己評価の実施）について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●自己評価の実施による業務評価	■業務の基準に則り適切に対応します。	■適切に対応いたしました。

ウー3 業務評価（第三者による評価の実施）について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●第三者評価の実施による業務評価 ※該当年度のみ対象	29年度の第三者評価の実施に向け、事業の案内を市を通じてお知らせし、視察対応をします。	■指定管理者選定評価委員の事業視察として、6月、10月、3月と3回の視察対応をしました。

7 その他について

ア 保険及び損害賠償の取り扱いについて

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●保険の加入と損害賠償への対応	業務の基準に則り、対人1億円の保険金額の施設賠償等保険に加入します。	■適切に対応しました。

イ 関係法令の順守

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●保険の加入と損害賠償への対応	コンプライアンス事故ゼロの達成	■適切な運営の結果、事故ゼロとなりました。

ウ 市及び関係機関等との連絡調整

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●市及び関係機関等との連絡調整	モニタリングや、必要に応じた相互連絡により情報共有を行います。	■モニタリング時以外にも、頻繁に連絡を取り合い、情報共有を密に行いました。

平成28年度 横浜市大佛次郎記念館 事業一覧

(1) 作品、旧蔵資料及び関連資料の収集、保存及び展示公開

No.	主催・共催・協力等	事業名	開催日・期間	入場者・参加者数(人)	会場	入場料・受講料(円)	備考
1	主催	収蔵品展	通年	20,563	2階展示室	入館料 一般:200 高校生150 小中学生以下無料	年1回展示替えを実施
2	主催	愛蔵品展示	通年	上記「収蔵品展」に含む	記念室	入館料	年1回展示替えを実施
3	主催	1階ロビー展示	通年	上記「収蔵品展」に含む	1階ロビー	入館料	年1回展示替えを実施
4	主催	所蔵品のオープンデータ化とWeb公開事業	通年	-	-	-	記念館ホームページ上に掲載するためのデータ整理の実施

(2) 作品及び大佛次郎に関する調査研究及び情報の集積

No.	主催・共催・協力等	事業名	開催日・期間	入場者・参加者数(人)	会場	入場料・受講料(円)	備考
1	主催	テーマ展示Ⅰ 磯貝宏園コレクションvol.2「鞍馬天狗ワンダーランド—昭和のあそび」	3/17-7/10	10,299	2階ギャラリー、サロン	入館料	サロンに遊び体験コーナーを設置
2	主催	テーマ展示Ⅱ 「瞬間を切り取る画家 ポール・ルヌアール」	7/14-11/13	4,481	2階ギャラリー	入館料	関連講演会(金子建志氏と聴く大佛次郎 旧蔵SPレコードコンサート)を開催(別掲) 「横浜音楽祭2016」と連携
3	主催	横浜音楽祭2016関連事業 ①特別展示「絵になった音」 ②金子建志氏と聴く大佛次郎 旧蔵SPレコードコンサート ③旧蔵SPレコードデジタル音源化と館内公開	①③9/21-11/13 ②10/22	②30	①③2階ギャラリー ②サロン	②1,000	テーマ展示Ⅱ「瞬間を切り取る画家 ポール・ルヌアール」期間内に実施 ①横浜音楽祭2016/パートナー事業 ②③共催:横浜アーツフェスティバル実行委員会
4	共催	2016みらいすくらメンバーの集いⅡ 試聴ラウンジ 「文豪 大佛次郎の音楽館 SPレコードコレクション徹底試聴」	10/15、10/16	56		3,000	
5	主催	テーマ展示Ⅲ ロマン・ロラン生誕150周年記念 「大佛次郎とフランス」 [関連講演会] 料理研究家 那須井綾子とめぐる「大佛次郎の美味しいフランス紀行」	11/17-3/12 講演会1/29	4,904 講演会13	2階ギャラリー 講演会:会議室	入館料 講演会1,500	関連講演会等を開催
6	主催	おさらぎ選書第24集刊行 特集「大佛次郎とフランス」	9/30	-	-	1部 700	

(3) 各種文化的事業の実施

No.	主催・共催・協力等	事業名	開催日・期間	入場者・参加者数(人)	会場	入場料・受講料(円)	備考
1	主催	横浜文学散歩～富岡編～	10/15	22	京急富岡駅～能見台駅	500	
2	主催	第43回 大佛次郎賞受賞記念講演会	-	-	-	-	受賞者の都合により来年度実施へ変更
3	共催	大佛次郎研究会公開発表会 第27、28回	5/28、11/12	春145、秋82	神奈川近代文学館	500 (資料代)	主催:大佛次郎研究会 年2回の公開発表会の共催 広報物作成等の活動支援
4	主催	和室公開(春・秋)	3/20-4/10(春) 11/27-12/11(秋)	1762(春1159、秋603)	和室	入館料	年2回、桜と紅葉のシーズンに和室を公開 大佛の俳句の紹介を実施
5	協力等	大佛茶亭公開(春・秋)	4/9、10/1	-	大佛茶廊	無料	主催:公益財団法人鎌倉風致保存会 グッズ・書籍等の出張販売、大佛次郎及び記念館の紹介の実施
6	主催	第4回 ミニ・ピリオパトル「大好きな本ってどんな本？」	11/5	31(ギャラリー含む)	サロン	無料(本人、家族)、 150(応援者)	中区との連携事業として実施
7	共催	子どもアドベンチャー2016 お話の中の猫と友達になろう!～感想画体験～	8/17、18	37	全館	無料 (本人、家族)	主催:横浜市教育委員会 小中学生無料化と、保護者の呼び込みによる入館者数の増大と入館料の確保を目指して実施
8	主催	大佛次郎×ネコ写真展2017	2/22-3/20	2,979	会議室、1階エントランス	入館料	共催:ジャパングリイイト株式会社 連携事業:第8回 猫・ねこ写真展(Art Gallery 山手)

(4) 施設の有効活用及び文化団体等への活動の場の提供

No.	主催・共催・協力等	事業名	開催日・期間	入場者・参加者数(人)	会場	入場料・受講料(円)	備考
1	その他	写真撮影等誘致	通年	-	全館	開館日:4,500/時間 休館日:33,000/日	年間8回の撮影実績
2	その他	会議室利用促進のための方策	通年	-	会議室		ホームページでの施設利用状況の提供を開始

(5) 市民協働及び地域とのネットワーク構築

No.	主催・共催・協力等	事業名	開催日・期間	入場者・参加者数(人)	会場	入場料・受講料(円)	備考
1	実行委員会	第11回横浜山手芸術祭『横浜山手西洋館ユースギャラリー』	2/11-19	248	会議室	無料	
2	共催	横浜山手西洋館 ハロウィンウォーク2016	10/30	3,753	エントランス付近	無料 (保護者は要入館料)	主催:公益財団法人横浜市緑の協会
3	主催	記念館ボランティアの組織化	-	-	-	-	メーリングリストの立ち上げの実施

(6) 広報・プロモーション活動の推進

No.	主催・共催・協力等	事業名	開催日・期間	入場者・参加者数(人)	会場	入場料・受講料(円)	備考
1	主催	ホームページのリニューアル	-	-	-	-	和室及び会議室の利用状況を公開
2	主催	広報事業「館案内ビデオ作成」	通年	-	エントランス付近	-	入館を促すための映像上映の実施
3	主催	広報事業	-	-	-	-	年間スケジュールの発行、CATV番組協力、ブログ、SNS運営等の実施

(7) 後世に継承するための記念館の活性化

No.	主催・共催・協力等	事業名	開催日・期間	入場者・参加者数(人)	会場	入場料・受講料(円)	備考
1	その他	『「ちいさい隅」の四季』、『大佛次郎と猫』刊行普及事業	通年	-	-	-	神奈川新聞社より『「ちいさい隅」の四季』6月刊行、小学館より、大佛次郎記念館監修「大佛次郎と猫」2月刊行
2	主催	活性化プロジェクト継承事業 謎解きシート「ねこからの挑戦状」配布	通年	-	-	-	
3	主催	第4回 ミニ・ピリオバル「大好きな本ってどんな本？」(再掲)	11/5	31(ギャラリー含む)	サロン	無料(本人、家族)、 150(応援者)	中区と連携し実施
4	共催	子どもアドベンチャー2016 お話の中の猫と友達になろう! ~感想画体験~(再掲)	8/17、18	37	全館	無料 (本人、家族)	主催:横浜市教育委員会 小中学生無料化と、保護者の呼び込みによる入館者数の増大と入館料の確保を目指して実施
5	協力等	ミュージアム・ミッション~博物館からの挑戦状~	7/16-8/31	208	神奈川県立歴史博物館他	無料 (保護者は要入館料)	市内博物館共催のクイズラリーに参加
6	協力等	スタンプラリー「文豪ストレイドックス」	5/2-6/5	4,240	1階ロビー	入館料	
7	協力等	横浜アートde街コン	3/5	17	全館	入館料	
8	主催	大佛次郎記念文学懇話会	6/24、11/18	14、17	会議室	-	

収益事業

No.	主催・共催・協力等	事業名	開催日・期間	入場者・参加者数(人)	会場	入場料・受講料(円)	備考
1	その他	ショップ事業	通年	-		-	ショップ年間売上:1,916,454円
2	その他	施設運営に伴う収益事業(ティールーム運営委託他)	通年	-		-	

平成28年度 「横浜市大佛次郎記念館」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	50,692,000		50,692,000	50,692,000	0	横浜市より
利用料金収入	525,000		525,000	707,250	△ 182,250	
自主事業収入	2,454,000		2,454,000	2,936,190	△ 482,190	
雑入	2,655,000	0	2,655,000	3,501,090	△ 846,090	
印刷代	85,000		85,000	308,232	△ 223,232	
霧笛施設利用	1,070,000		1,070,000	1,069,800	200	
その他(ショップ収入、ティールーム設備料)	1,500,000		1,500,000	2,123,058	△ 623,058	
収入合計	56,326,000	0	56,326,000	57,836,530	△ 1,510,530	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	34,484,000	0	34,484,000	33,901,406	582,594	
給与・賃金	28,965,000		28,965,000	27,714,173	1,250,827	
社会保険料	3,586,000		3,586,000	3,608,428	△ 22,428	
通勤手当	625,000		625,000	1,166,194	△ 541,194	
健康診断費	28,000		28,000	49,613	△ 21,613	
勤労者福祉共済掛金	24,000		24,000	0	24,000	
退職給付引当金繰入額	1,256,000		1,256,000	1,362,998	△ 106,998	
事務費	3,581,000	0	3,581,000	10,223,300	△ 6,642,300	
旅費	100,000		100,000	101,150	△ 1,150	
消耗品費	660,000		660,000	1,420,364	△ 760,364	
会議随い費	30,000		30,000	16,233	13,767	
印刷製本費	500,000		500,000	497,389	2,611	
通信費	380,000		380,000	472,838	△ 92,838	
使用料及び賃借料	950,000	0	950,000	1,074,210	△ 124,210	
横浜市への支払分	950,000		950,000	928,803	21,197	
その他	0		0	145,407	△ 145,407	
備品購入費	200,000		200,000	5,890,460	△ 5,690,460	展示ケース3台購入ほか
図書購入費	150,000		150,000	148,600	1,400	
施設賠償責任保険	249,000		249,000	296,010	△ 47,010	
職員等研修費	0		0	34,000	△ 34,000	
振込手数料	61,000		61,000	78,452	△ 17,452	
リース料	301,000		301,000	0	301,000	
手数料	0		0	156,594	△ 156,594	
地域協力費	0		0	37,000	△ 37,000	
事業費	3,360,000	0	3,360,000	4,113,074	△ 753,074	
自主事業費	3,360,000		3,360,000	4,113,074	△ 753,074	
管理費	9,485,000	0	9,485,000	6,919,928	2,565,072	
光熱水費	2,480,000	0	2,480,000	1,344,161	1,135,839	
電気料金	2,000,000		2,000,000	1,132,161	867,839	
ガス料金	200,000		200,000	2,209	197,791	ガス契約解除
水道料金	280,000		280,000	209,791	70,209	
清掃費	2,700,000		2,700,000	2,106,000	594,000	
修繕費	1,715,000		1,715,000	590,976	1,124,024	
機械警備費	750,000		750,000	741,312	8,688	
設備保全費	1,840,000	0	1,840,000	2,137,479	△ 297,479	
空調衛生設備保守	450,000		450,000	421,200	28,800	
消防設備保守	300,000		300,000	294,840	5,160	
電気設備保守	150,000		150,000	147,096	2,904	
害虫駆除清掃保守	300,000		300,000	291,600	8,400	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	640,000		640,000	982,743	△ 342,743	
共益費			0	0	0	
公租公課	2,550,000	0	2,550,000	2,263,300	286,700	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	2,500,000		2,500,000	2,258,700	241,300	
印紙税	50,000		50,000	4,600	45,400	
その他()	0		0	0	0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	2,866,000	0	2,866,000	2,866,000	0	
本部分	2,866,000		2,866,000	2,866,000	0	
当該施設分	0		0	0	0	
支出合計	56,326,000	0	56,326,000	60,287,008	△ 3,961,008	
差引	0	0	0	△ 2,450,478	2,450,478	